

- 1 日時 平成 年 月 日(月) 1校時
- 2 場所 2年生教室
- 3 学年 2学年 名(男子 名 女子 名)
- 4 単元名 障害の防止
- 5 単元について

(1) 単元観

中学校学習指導要領では、「保健分野」の目標として、個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てることであると示されている。

本単元では、健康に適した快適な環境の維持と改善、傷害の発生要因とその防止及び応急手当並びに健康な生活行動の実践と疾病の予防について、個人生活を中心として科学的に理解できるようにする。

傷害の発生には様々な要因があり、それらに対する適切な対策によって傷害の多くは防止できること、また、応急手当は傷害の悪化を防止することができることを理解できるようにする。

交通事故や自然災害などによる傷害は人的要因、環境要因及びその相互のかかわりによって発生すること、交通事故などの傷害の多くはこれらの要因に対する適切な対策を行うことによって防止できること、また、自然災害による傷害の多くは災害に備えておくこと、災害発生時及び発生後に周囲の状況に応じて安全に行動すること、災害情報を把握することで防止できること、及び適切な応急手当は傷害の悪化を防止することができることなどを中心として理解させる。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、落ち着いた態度で学習することができ、班活動も積極的に話し合いを行うことができる。学校の状況として、山間部の学校への登下校は、徒歩、自転車、公共交通機関(バス)、保護者の送迎など様々である。学校の行事や活動を通して、地域の自然や暮らしを見つめ、安心・安全な生活を築くことの必要性を感じている生徒が多いが、自分たちの生活の中にある課題を解決させるための視点を整理していくことや具体的な解決方法に迫る道筋を明確にし、行動化していこうとする意識は少ないように思われる。交通ルールの軽視に見られるように生活の中での安全への意識の薄さは、周囲の危険に気づき、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であるということを学ぶ学習が、より重要であることを意味している。

(3) 指導観

本単元では、小学校で学んだ「けがの防止」の内容をさらに発展させ、身の回りの生活(特に通学路を焦点として)について危険予測を基にした課題の発見とそれを解決させるための方法や行動について、本単元までに身につけた知識を活用し、資料を収集し、情報を整理・分析する情報活用力を育てる。まとめについては、グループの意見を集約し発表させ、今後の生活に関連付けた説明ができるようにする。

6 単元の目標

- ・ 傷害の防止について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。
(関心・意欲・態度)
- ・ 傷害の防止について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表すことができるようにする。
(思考・判断)
- ・ 交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因やそれらによる傷害の防止、応急手当について、課題の解決に役立つ基礎的な事項およびそれらと生活との関わりを理解できるようにする。
(知識・理解)

7 単元の評価規準

	健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
章の評価規準	傷害の防止について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	傷害の防止について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表している。	交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因やそれらによる傷害の防止、応急手当について、課題の解決に役立つ基礎的な事項およびそれらと生活との関わりを理解している。
学習活動における具体的な評価規準	①傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ②傷害の防止について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	①傷害の防止について、健康に関する資料等で調べたことをもとに課題や解決の方法を見つけたり、選んだりするなどして、それらを説明している。 ②傷害の防止について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見つけたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。	①交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ②交通事故などによる傷害の防止について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ③自然災害による傷害の防止について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ④応急手当について理解したことを言ったり、書き出したりしている。

8 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本単元の指導において取り入れる活動を通して、育成する資質・能力は次の通りである。

学習活動	育成する資質・能力	具体的な姿
傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返る。 課題を見つめ、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組む。	課題解決力	資料等で調べたことをもとに課題を見つめ、その解決の方法を見つけたり、選んだりするなどして、それらを説明している。 学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見つけたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。

9 指導と評価の計画（全9時間）

時	学習内容	評価					★資質・能力の評価 (評価方法)
		関	思	技	知	○評価規準 (評価方法)	
1	傷害の発生要因 <課題の設定> <情報の整理>	◎	○			・傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活	観察 ノート等への記入 状況

	<整理・分析>				動に意欲的に取り組もうとしている。 ・傷害の防止について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見つめたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。	
2	交通事故の発生要因 <課題の設定> <情報の整理> <整理・分析>	○	○	○	・傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・傷害の防止について、健康に関する資料等で調べたことをもとに課題や解決の方法を見つめたり、選んだりするなどして、それらを説明している ・交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因について理解したことを言ったり、書き出したりしている。	観察 ノート等への記入 状況
3	交通事故の危険予測と回避 <課題の設定> <情報の整理> <整理・分析> <まとめ・創造・表現>	○	◎	○	・傷害の防止について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・傷害の防止について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見つめたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。 ・交通事故などによる傷害の防止について理解したことを言ったり、書き出したりしている。	観察 ノート等への記入 状況
4	犯罪被害の防止 <課題の設定> <情報の整理> <整理・分析> <まとめ・創造・表現>	○	◎	○	・傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・傷害の防止について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見つめたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。 ・交通事故などによる傷害の防止について理解したことを言ったり、書き出したりしている。	観察 ノート等への記入 状況
5	自然災害による危険 <情報の整理> <整理・分析> <まとめ・創造・表現>	○		◎	・傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・自然災害による傷害の防止について理解したことを言ったり、書き出したりしている。	観察 ノート等への記入 状況
6	自然災害による傷害の防止 <情報の整理> <整理・分析> <まとめ・創造・表現>	○	◎	○	・傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・傷害の防止について、健康に関する	観察 ノート等への記入 状況

					<p>る資料等で調べたことをもとに課題や解決の方法を見つけたり、選んだりするなどして、それらを説明している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害による傷害の防止について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 	
7	<p>共に生きる〈発展〉</p> <p>〈課題の設定〉</p> <p>〈情報の整理〉</p> <p>〈整理・分析〉</p> <p>〈まとめ・創造・表現〉</p>	○	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・傷害の防止について、健康に関する資料等で調べたことをもとに課題や解決の方法を見つけたり、選んだりするなどして、それらを説明している。 ・自然災害による傷害の防止について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 	<p>観察</p> <p>ノート等への記入状況</p>
8	<p>応急手当の意義と心肺蘇生</p> <p>〈情報の整理〉</p> <p>〈整理・分析〉</p> <p>〈まとめ・創造・表現〉</p>	○	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・傷害の防止について、健康に関する資料等で調べたことをもとに課題や解決の方法を見つけたり、選んだりするなどして、それらを説明している。 ・応急手当について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 	<p>観察</p> <p>ノート等への記入状況</p>
9	<p>けがの応急手当</p> <p>〈情報の整理〉</p> <p>〈整理・分析〉</p> <p>〈まとめ・創造・表現〉</p>	◎		○	<ul style="list-style-type: none"> ・傷害の防止について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・応急手当について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 	<p>観察</p> <p>ノート等への記入状況</p>

10 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・交通事故を防ぐ方法を理解し、具体的に説明することができる。

(2) 本時の評価規準

- ・交通事故の防止について、生活や事例などと比較したり、関係を見つけたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。(思考・判断②)

(3) 資質・能力の評価規準

「課題解決力」

- ・危険予測と回避について、自分たちの生活や事例に関連して課題を整理し、課題を解決させる方法について収集した情報を活用して筋道を立てて説明することができる。

(4) 準備物

- ・地域周辺地図
- ・模造紙
- ・マジック
- ・ワークシート

(5) 学習の展開

	学習活動	○指導上の留意点 ◆配慮を要する生徒への支援	評価規準（評価方法） ☆観点別評価 ★資質・能力の評価
導入	1 前時の復習をする。 2 本時の目標を確認する。	○傷害や交通事故の発生要因を再度確認する。	
	本時の目標：交通事故を防ぐ方法を理解し、わかりやすく説明しよう。		
	課題の設定 3 課題を把握する。	◆交通事故の背景が思い浮かばない生徒は、教科書の統計資料や図を用いて再度考えさせる。	
	新入生説明会で、事故なく登下校するために、通学路を確認し、交通事故など危険を回避する方法について説明する。		
	4 評価規準を示す。	○評価に基づいて発表内容を考えさせる。	
展開	情報の収集 5 学校周辺から登下校の道筋において、どのような危険が予測されるか考える。（個人での活動）	○様々な場所や時間、環境条件を想定し、登下校のあらゆる場面での危険について予測させる。	
	整理・分析 6 班で危険予測を交流する。（班での活動） 7 班ごとに出た意見を発表し合う。（全体での活動）	○時間や場所、環境条件などの視点を持ってどのような改善点があるのか考えさせる。 ◆疑問に思ったことや分からないことはお互いに質問し合い、説明させる。 ○各班で収集した情報について全体で交流し、情報を整理していくための視点を整理させる。	☆思考判断① ★資料等で調べたことをもとに課題を見つめ、その解決の方法を見つけたり、選んだりするなどして、それらを説明している。（観察）
	まとめ・創造・表現 8 班内での意見を基に、危険回避のための方法をまとめる。発表内容をまとめる。（個人での活動）	○本時のポイントになるところを、生徒のことはを使い、まとめる。 ◆発表を踏まえて、生徒にまとめを考えさせる。	☆思考判断② ★交通事故の防止について、生活や事例などと比較したり、関係を見つけたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。（観察、ノート等への記入状況）
まとめ	ふい返し 9 本時を振り返り、次時につなげる。	○本時の学習を振り返り、分かったことや気づいたことを書かせる。 ○みんなの発表を聞き、「自分が実践できる解決策とするためには、どうすればよいか」について、自分の身近な状況に照らして再検討させる。	☆思考判断②